

第35期第13回常任理事会議事録

日 時：2009年9月15日（火）13時30分～16時45分

会 場：日本気象学会事務局（気象庁8階）

出席者：新野，藤谷，石田，岩崎，近藤（裕），佐藤，里村，田中，中村，中本，藤部，以上11名（常任理事現在数13名）

欠席者：近藤（豊），中島，以上2名

その他の出席者：鈴木，田沢，萩原（事務局）

議 事

1. 第35期第12回常任理事会議事録の確認

2. 第35期第7回理事会議事録の確認

3. 会員の加入・退会

新入会員20，退会38を全会一致で承認した。2009年9月11日現在，会員数3,950名で通常会員は1,095名。

4. 論文賞について

気象集誌およびSOLAの論文賞について，前回の常任理事会に引き続き検討を行った。11月の理事会でも検討していく。

5. 文部科学省の実地検査報告について

2009年7月22日に行われた文部科学省による実地検査およびその結果について報告があり，対応について協議した。

6. 各委員会からの報告

庶務…転載許可

1) 株式会社岩波書店編集部樋口良澄氏から倉嶋厚「風水害の時代的変遷と防災気象情報の発展」－2005年度藤原賞受賞記念講演－天気第52巻12月号を株式会社岩波書店発行、倉嶋厚著「日本の空を見つめて」への転載。

2) 電気協同研究会「自然災害に対する架空送電技術の動向調査専門委員会」作業会主査坂井徹氏から，K. Saito: A Numerical Study of the Local Downslope Wind “Yamaji-Kaze” in Japan. Part3: Numerical Simulation of the 27 September 1991 Windstorm with a Non-hydrostatic Multi-nested Model. J. Meteor. Soc. Japan, 72, 301-329, 1994, のFig. 18 を電気協同研究会「自然災害に対する架空送電技術」（2009年9月発行予定）に転載

3) 増田善信氏から，気象研究所予報研究室員：気象集誌，33，101-116，1955，のFig. 3(a)，勝山税，磯部英彦：天候の特徴，気象研究ノート，210，1-16，2005の図1.3.2，山形俊男，部辺羅諏訪人：ダイポールモードと日本の夏，気象研究ノート，210，131-144，2005の図11.4，増田善信，藤田敏夫：今夏の異常気候と水爆の影響，天気，1，121-124，1954を日刊工業新聞発行、増田善

信著「異常気象学入門（仮）」（2009年秋発行予定）に転載。

- ・後援名義等使用依頼受付

名称：第10回こどものためのジオ・カーニバル

- 1) 主催：21世紀の地学教育を考える大阪フォーラムこどものためのジオ・カーニバル企画委員会
- 2) 期日：2009年11月7日(土)～8日(日)
- 3) 場所：大阪市立科学館（大阪市北区）
- 4) 名義：後援
- 5) 共催：財団法人大阪科学振興協会

名称：第21回風工学シンポジウム

- 1) 主催：第21回風工学シンポジウム運営委員会
 - 2) 期日：2010年12月1日（水）～3日（金）
 - 3) 場所：東京大学山上会館（東京都文京区）
 - 4) 名義：共催
 - 5) 共催：日本鋼構造協会，日本風工学会，土木学会，日本建築学会，電気学会
- ・文部科学省へ理事変更登記完了届を送付した。
 - ・特許庁に「指定学術団体活動状況報告書」を提出した。

会計…2009年7月分および8月分の収支及び現預金検査報告と文部科学省実地検査の会計に関わる事項について報告。

天気…Vol.56 No.9（2009年9月号）の掲載記事と，Vol.56 No.10（2009年10月号）予定記事の報告。

気象集誌…編集委員会で検討中の英文校正のあり方について報告され，議論した。

気象研究ノート…「同位体」について，9月中に入稿できそうとの報告があった。

SOLA…今年度の論文掲載について昨年度より良いペースであるとの報告があった。

講演企画…2009年度秋季大会のプログラムの報告。

- ・2011年度地球惑星科学連合春季大会の気象学会主催のセッションについて，サブテーマの応募が1件あったことが報告された。
- ・日中韓国際会議と大会の関係について議論した。

総合計画…評議員会での意見への対応について，そのたたき台が担当理事から示された。今後，このたたき台を精査のうえ，常任理事会及び理事会において検討を行い，具体的な対処方針等を策定することとなった。

学術…気象学会の中長期ビジョンについて検討を行った。

教育と普及…夏季大学の開催やサイエンスカフェについて報告された。

国際学術交流…延期した日中韓気象学会共催国際会議に関して，プログラムの再検討中であることが報告された。なお，大幅な変更ではなく，セッションの日程は変わらない。

電子情報…2009年7月の気象学会ホームページのアクセス状況（85,774件）及び8月のアクセス状況（97,371件）について報告。引き続きアクセス数が昨年と比べて少ない。

- ・公募情報掲載数9件，うち海外2件。

気象研究コンソーシアム…新たな応募があると随時集まって対応していることが報告された。

気象災害…平成21年7月中国・九州北部豪雨について，秋季大会前日にメソ気象研究会と共催で一般向け講演会を行うことが報告された。

7. その他

- 1) IAMAS: Executive Committee Meetingの報告。
- 2) 「日本気象学会会員を対象としたアンケートへのご協力願い」への対応について検討した。

平成21年10月20日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 中本 能久

署名人 石田 純一